

令和5年度第3回住吉区区政会議

1 日時：令和5年12月7日（木） 午後6時30分～午後8時17分

2 場所：住吉区役所4階 大会議室

3 出席者

委員：岩根麻琴委員、鍛冶本七重委員、栗野由佳委員、齋木進太郎委員、繁田文三委員、菅原正二委員、佃井敏通委員、辻野けんま委員、中野薫委員、仲本房司委員、浜田眞里子委員、福留千佳委員、藤本陽子委員、榊野隆平委員、山本讓委員、渡邊博彦委員、和田勍子委員

区役所：平澤宏子（区長）、樋口幸生（副区長）、田中斉（総務課長）、中野泰裕（政策推進課長）、山田美奈子（教育文化課長）、小林資明（地域課長）、山尾貴彦（住民情報課長）、柴田純男（保険年金課長）、小西宏樹（保健福祉課長）、福田利明（保健子育て担当課長）、仲間いずみ（保健主幹）、稲岡訓規（生活支援課長）、北野陽一（総務課長代理）

4 議題

（1）報告事項

- ・住吉区将来ビジョン（案）について
- ・区政会議に関するアンケート結果について
- ・令和5年度第1回住吉区総合教育会議について
- ・令和5年度第2回住吉区防災専門会議について
- ・令和5年度第2回住吉区地域福祉専門会議について

（2）協議事項

- ・令和6年度住吉区運営方針（案）について

5 発言者及び発言内容は以下の通り

【北野（司会）】 ただいまより、令和5年度第3回住吉区区政会議を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日、司会を務め

させていただきます政策推進課長代理の北野でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、開催に当たりまして、平澤区長よりご挨拶を申し上げます。

【平澤区長】 皆さん、こんばんは。住吉区長の平澤です。平素より大阪市政、住吉区政にご理解、ご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。また、本日、遅い時間にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

今年度につきましては、特に住吉区の将来ビジョン2028の策定に当たりまして、皆様方には真摯なご議論をいただきましたことに感謝申し上げたいと思います。2028年までの間に、住吉区政の100周年ですとか、大阪・関西万博の開催といったことを迎えることにもなります。万博につきましては、区政の推進とも関わりますSDGsの達成への貢献ですとか、大阪・関西の成長、発展につながるというものでございますので、区としても引き続き機運醸成に努めてまいりますので、ご協力をどうぞよろしく願いしたいと思います。

また、ビジョン（案）につきましては、後ほど報告がございますけれども、現在パブリックコメントによる意見募集を実施しているところでございます。その後、3月までには確定させまして、公表したいと考えております。可能であれば、広報紙3月号で区民の皆さんにお知らせできるようにしたいとも考えておりまして、また公表の前には委員の皆様にも、パブリックコメントの結果と併せまして、ご説明させていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日につきましては、令和6年度の運営方針につきましてご意見をいただきたいと考えております。作成に時間がかかりまして、皆様へ送付するのが非常に遅くなりまして、大変申し訳ございませんでした。新しいビジョンを基に具体的な取組を設定しておりましたので、少し作成に時間がかかってしまったということでございます。

運営方針は、ビジョンを達成していくための単年度のアクションプランでございますので、ビジョンのスタートの年である令和6年度の取組を、本日お示しする運営方針の案で示しておりますけれども、やってみて、またもし、なかなかうまくいかない分については、検証して、また新しい取組をするといったPDCAを回していきたいと考えておるところでございます。ですので、今回お示ししている取組は令和6年度ということで、7年度以降、また新たな取組をやっていくことも十分あると考えております。ですので、本日いろいろ忌憚のないご意見もいただきまして、令和6年度に反映するもの、令和7年度以降に反映するもの、そういったものも整理していけたらと考えておりますので、本日、どうぞ

よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 それでは、会議を始めるに当たりまして、皆様方にお願いがございます。この区政会議は条例に基づく会議となっております。後日、会議録等を公開いたします関係上、録音並びに写真撮影をさせていただきます。

また、大阪市ではデジタルツールを最大限活用した区政会議の推進の取組の1つとして、区政会議の様子を動画配信にて公開するWeb傍聴の実現をめざしております。今回の第3回区政会議については、ライブ配信を行っており、会議終了後は録画配信を行います。

なお、個人のプライバシーに関することや、個人に対する中傷的な発言など、そのまま発信することが妥当でないと判断した場合については、会議終了後、動画の編集を行い、発言を修正、削除して会議録を作成することがございますので、ご了承をよろしくお願いいたします。

続きまして、市議員の皆様におかれましては、条例第8条に区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができると規定されております。

本日お見えになられている市議員の皆様をご紹介します。

中田議員です。

【中田議員】 どうも、こんばんは。よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 伊藤議員です。

【伊藤議員】 こんばんは。よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 くぼた議員です。

【くぼた議員】 こんばんは。お疲れさまでございます。お願いします。

【北野（司会）】 次に、令和5年10月1日付で区政会議委員の交代がございましたので、ここでご報告させていただきます。

公募委員として、岩根委員です。

【岩根委員】 岩根と申します。よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 公募委員として、齋木委員です。

【齋木委員】 齋木と申します。よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 地域団体推薦として、住吉区PTA協議会の桶土井委員に代わり、栗野委員です。

【栗野委員】 栗野と申します。よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 住吉区子ども会育成連合協議会の南委員に代わり、小寺委員でござい

ますが、出席のほうが少し遅れておりますので、到着次第ご紹介させていただきます。

続きまして、住吉区地域振興会の佐藤委員に代わり、仲本委員です。

【仲本委員】 仲本です。よろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 住吉区青少年指導員連絡協議会の荻野委員に代わり、藤本委員です。

【藤本委員】 お願いいたします。

【北野（司会）】 なお、住吉区商店街連盟の田中委員に代わり、市田委員におかれましては、本日ご欠席をされておられます。

以上の皆様、よろしくお願いいたします。

ここで本日の委員の出席状況ですが、委員定数24名のところ、現在17名ご出席いただいております。条例第7条による定足数であります定数の2分の1以上を満たしていることをご報告させていただきます。

それでは、以降の区政会議の議事進行を辻野議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【辻野議長】 議長の辻野です。よろしくお願いいたします。

大分朝晩は冷え込むようになってきましたが、風邪など気をつけてください。

本日もたくさんの報告事項と協議事項がありますので、議論の時間も限られているんですけども、せっかく新しい委員の方々にご就任いただきましたので、ぜひ遠慮なくご発言いただけたらありがたいなと思います。特にビジョンに関しては、2月のオープンに向けて、今日が最後の議論の場になるんでしょうかね。ですので、これまで委員を務めてこられた皆様は、ずっと議論を重ねてきたので、何となく内容に関しては理解がしやすいところもあるんですけども、本日委員になってくださった皆様は、初めて目にする方も多いと思いますので、ちょっと情報過多かもしれないんですけども、ある意味フレッシュな視点で、ぱっと気づいたことを言っていただけたら、改善に生かしていけるんじゃないかなと思っています。

それでは、本日の進め方を説明いたします。まずは、報告事項として、住吉区将来ビジョン（案）について、改選前の区政会議委員の皆様にご依頼しご協力いただきました、区政会議に関するアンケート結果と、各専門会議等の開催結果の概要を、関係課長から報告させていただきます。

次に、協議事項の令和6年度住吉区運営方針（案）について、概要を説明させていただきます。

区役所からの説明の間に、質問の時間を設けますので、区政会議の委員の皆さんから、ご意見を承りたいと思います。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただいております資料の右上に、番号をつけております。資料としては、①から⑨までございます。

なお、事前に送付させていただいております配付資料⑧-1、⑧-2に差し替えが生じています。また、本日配付資料としまして、配付資料③-3の3種類の資料を机上に設置しております。ちょっと早いでしょうか。大丈夫でしょうか。配付資料③-3は要回収資料になりますので、お帰りの際に、机の上に置いたまま、持ち帰らないで、置いて帰っていただきますよう、お願いいたします。資料の不足などはありませんでしょうか。よろしいでしょうかね。

本日の会議は20時までを予定しています。円滑に進行したいと思います。どうかよろしくお願いします。

それでは、議事に入ります。

まずは、報告事項からお願いします。まとめて区役所からご説明いただいて、その後で質問の時間を取りますので、よろしくをお願いいたします。では、区役所から説明をお願いいたします。

【中野政策推進課長】 政策推進課長の中野でございます。私から、報告事項1点目、住吉区将来ビジョン（案）の策定についての進捗等についてご報告させていただきます。

まず、委員の皆様方には、これまで、ビジョン検討会議、区政会議の場で、このビジョン作成に当たり、貴重なご意見等をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、配付資料③をご覧くださいと思います。

まず、③-2ですが、これは第2回区政会議でご説明させていただいたものなんですけれども、その後、一部文言修正、また、15ページ以降のデータ編の数値の更新や表現の統一等で、修正及び訂正を加えさせていただきました。

それから、資料③-1の1枚物の資料は、ビジョンの概要版でございます。ビジョンの考え方、4つの柱、方向性、柱ごとの戦略等を1枚物で要約したものでございます。

この資料、③-1と2につきましては、本日の区政会議終了後の12月11日から来年年明けの1月10日までの約1か月間、パブリックコメントを実施しまして、広く意見募集を行い、来年の2月末にパブリックコメントの実施結果報告を行う予定でございます。

それから、次に、資料③-3は表紙案でございます。大阪公立大学文学部文化構想学を

学ぶ学生さんの作品で、今ご提示させていただいているものは、あくまでもラフスケッチ案で、現在仕上げに向けて作成していただいているところです。この学生さんに表紙コンセプトの説明を受けましたが、学生さん自身が、事前に将来ビジョンをしっかり読み込んで、また、実際に現地も、住吉区内を歩いてフィールドワークした上で、住吉区ならではの歴史や豊かな文化や住みやすいまち、住みやすい地域、教育や子育て、また、区民の安全・安心を表現したいということで、住吉大社の一寸法師のお椀とお箸、このお椀の中に、自然や水辺、子どもたちが安全に遊ぶため、また、その上から街路灯で照らし、見守っていることを表現したいという説明を受けました。現在ブラッシュアップ中ということですので、また次回の区政会議で、できたものをご提出させていただきたいと考えております。また、現在調整中ではありますが、次回の区政会議では、作成された学生さんに参加してもらって、表紙のコンセプトなんかをこちらでプレゼンしていただければと考えております。

最後に、資料⑨に飛びます。9月7日開催の第2回区政会議で、将来ビジョン（案）について委員の皆様方からいただいたご意見や、その対応、ご感想等をまとめたものを配付させていただいております。またご一読、ご確認、よろしく願いいたします。

報告事項1点目は、以上でございます。

続いて、報告事項2点目、区政会議に関するアンケート結果について報告をさせていただきます。

資料④をご覧ください。

本年9月に実施させていただき、委員24人中23人からご回答いただきました。

設問1の会議では、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているか、との問いについて、20の方が、「思う」「やや思う」と答えており、約9割の方が区政会議を肯定的に捉えていただいております。

設問2では、会議での活発な意見交換に向けての課題があるかについてお聞きしました。会議前に、十分資料を読む時間が足りないという方が8人、資料が多いというお答えをいただいた方が5人おられました、そういったご意見もいただいております。なんですけれども、今回も多く資料と、事前の資料送付も遅くなってしまい、申し訳ありませんでした。また今後は改善に努めていきたいと考えております。

設問3は、設問2の課題の改善のための取組や工夫について記入いただいた内容でございます。

設問4と5は、区政会議で、意見や要望、評価について、適切にフィードバックが行われているかと、その理由についてお聞きしましたが、「思う」「やや思う」が19人と、8割超の方から肯定的なご意見も頂戴しているところですが、行政特有の表現で分かりにくいなどの改善意見もございました。

また、設問6のその他ご意見でも、多数の改善意見やご提案、ご感想をいただいております。今回いただきましたご意見等を参考に、運営の改善等に努めたいと考えております。

報告事項2点目は、以上でございます。

【山田教育文化課長】 いつも大変お世話になっております。教育文化課長の山田でございます。私から、報告事項3点目、令和5年度第1回住吉区総合教育会議について報告をさせていただきます。

配付資料⑤をご覧ください。

令和5年度第1回住吉区総合教育会議は、令和5年8月21日午後2時から行われました。議題につきましては、(1)の令和5年度住吉区における主な教育・子育て関連事業について、(2)情報提供、学校園における教職員の働き方改革について、こども家庭庁及びこども家庭センターについて、それから、今年度新たに始まった取組といたしまして、出産・子育て応援交付金についての情報提供をさせていただきました。

議論のポイントでございますが、住吉区における主な教育・子育て関連事業を説明しましたところ、委員からご意見がございました。住吉区版重大な虐待ゼロに向けた地域・医療連携ネットワーク事業に関しまして、研修会及び交流会を開催したとのことだが、当日の様子や参加された方がどう感じて、何をめざしているのか、お伺いしたいということでもございました。こちらから、研修会、交流会を通して、区役所と顔の見える関係をつくることにより、通告すべきかどうか迷うケースなど、相談できる、対応できる体制をめざしている旨、説明をさせていただきます。

それから、はぐあっぷ「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ」事業についてでございますが、指標についてご意見をいただきました。効果的な測定ができるよう検討する旨の説明を行ったところでございます。

それから、子ども・若者育成支援事業についてもご意見がございました。新たな居場所の在り方について検討とあるが、どういうことだったのかということでもございます。場所としての居場所だけでなく、場所にとらわれない形での、その方々の特性に応じた居場所を考えて、その在り方を検討していきたいという旨の説明をさせていただきます。

情報提供につきましては、先ほど申しましたとおりでございます。

以上でございます。

【小林地域課長】 皆さん、こんばんは。地域課長の小林と申します。日頃からお世話になり、ありがとうございます。

私のほうから、報告事項4点目、令和5年度第2回住吉区防災専門会議について報告させていただきます。

配付資料の⑥をご覧ください。

日時につきましては、令和5年10月25日に実施させていただきました。

真ん中の6、議事要旨をご覧ください。

報告事項といたしまして、1点目、令和5年度第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針につきまして、6月2日の大雨警報に係る対応について、警戒レベル3発令以前から各地域活動協議会会長へ情報提供するとともに、ホームページやXでの注意喚起を行ったなどの報告をさせていただきました。

次に、避難所で活用するためのタブレット端末につきまして、大規模災害時には、公衆無線LANサービス「00000 JAPAN」というんですけれども、そちらの活用を予定しており、大阪市防災アプリや翻訳アプリ、LINEなどをインストールして活用する旨の説明を行いました。

2点目といたしまして、8月14日の台風7号に対する当日の対応経過について報告を行いました。

3点目といたしまして、9月10日の大雨警報に対する被害状況や対応経過についてご説明をさせていただきました。

裏面をご覧ください。

その中で、帰宅困難者が数名出たであったりとか、内水氾濫の危険性を再確認したというご意見をいただきまして、管路管理センターでの土のうの貸出し等についてご説明をさせていただきました。

4点目につきまして、令和5年度防災情報誌の全戸配布についての掲載内容の説明を行ってまいりました。

5点目といたしまして、第10回住吉区防災イベントについて、11月25日に実施させていただきました。内容について、障がい当事者による災害についての紙芝居であったり、防災演劇、体験コーナーなどの内容を説明させていただきました。

議題といたしまして、1点目、令和5年度住吉区総合防災訓練の実施概要について説明させていただき、11月11日に実施させていただきました、各避難所における訓練規模であったり、各地域で実施した模擬訓練の実施内容等の説明をさせていただきました。当日は、模擬訓練を通じて得た知識を、地域が主体となり参加者へ伝えるなど、各地域で工夫して訓練を実施していただきました。

2点目といたしまして、令和6年度の防災の主な取組について、備蓄物資の配備や災害時用のタブレットの追加配備など、7項目について説明を行ってまいりました。

その中のご意見といたしまして、カセットボンベが必要ではないかということであったり、福祉避難室での手すりの配備をしてはどうかという意見であったり、女性の相談コーナーの設置が必要であるというご意見もございましたが、保管場所にも限度があり、やはり各家庭での備えが必要であるという意見も頂戴したところでございます。

以上でございます。

【小西保健福祉課長】 保健福祉課長の小西です。私からは、報告事項5点目の令和5年度第2回地域福祉専門会議についてご報告いたします。

配付資料⑦をご覧ください。

令和5年11月2日に開催をいたしました。

議題としましては、1つが、住吉区地域見守り支援システムの進捗状況について、議事が、住吉区地域福祉ビジョン改訂案骨子についてということとございまして、令和6年度から8年度の向こう3年間の地域福祉ビジョンについての改訂作業を今しております。その改訂案の骨子についてご説明をさせていただき、ご意見をいただきました。これまでのビジョンに比べまして、地域福祉に関心の薄い方にも関心を持っていただけて、手に取っていただき、できるだけ多くの方に読んでいただけるような、そういったビジョンを作成するという作業を進めております。基本理念、基本目標を各項目立てについても、そういった視点から様々な工夫をさせていただいているところです。

それについて、主な委員意見として、様々な意見をいただいております。まず、福祉というものは、マイナスをゼロにするということではなくて、よりプラスのものをめざしていくことであるとか、昨今言われていますウエルビーイングや福祉、幸福といったものを主体として置いていくということで、住吉区では、そうしたプラスの土壌がもう既に出来上がっているというご意見。今回の基本理念は、よりポジティブな方向を向いているように見受けられるというご意見。

裏を見ていただきまして、3点目、「ゆるやかなつながり」というものがキーワードなんですけれども、これにつきましては、イメージが難しいというご意見や、ひどく心を引かれたというご意見をいただいております。また、「まんなか」であるとか「まるごと」という言葉もキーワードなんですけれども、こういった言葉についても、ちょっと分かりにくいと、前のビジョンは具体的であったが、今回はすごく抽象的な感じがするというようなこともいただいております。

少し下がりにまして、こういった熱い思いが行政サイドにあることは心強い。イラストなどを入れたりとか、視覚的に見せると理解が深まるのではないかと。さらに、文字数を減らしたほうがいいのではないかとのご意見もいただいております。

例えば子どもと一緒に子ども版のビジョンをつくってもいいのではないかとのご意見もいただいております。

そうしたご意見を踏まえまして、地域福祉がより分かりやすく、届きやすく、様々な地域の福祉の取組に参画していただけるようなものをめざすべく、改訂作業を進めております。

今回は2月22日の予定でございます。

以上でございます。

【辻野議長】 先ほどちょっとフライングをしてしまいまして、すみませんでした。ありがとうございます。

たくさんの報告事項があったんですけれども、将来ビジョン（案）と、区政会議のアンケート、こちらも多くの意見をいただいている、資料⑨にまとめていただいています。また、新しく委員になってくださった皆様はもしかしたらなじみがないかなと思うんですけれども、専門会議が3つありまして、総合教育会議、防災専門会議、地域福祉専門会議という順番でご報告いただいたところです。たくさんの情報がありますけれども、今から質疑の時間を取りたいと思いますので、気づいたこととか質問、感想、何でも結構です。自由に発言してください。いかがでしょうか。

お願いします。

【山本委員】 山本です。

すみません、ただの感想になっちゃうんですけど、住吉区地域福祉専門会議、これの最後におっしゃっていた子ども版のビジョンというのはすごくいいなと思って、子どもも住んでいて、むしろビジョンとかは、本来は子どもとか、そういう小さい子たちが大人にな

ったときに本当に必要なものだと思うので、僕の子どもも6歳なんですけど、こういうのに小さい頃から触れられたらすごくいいなと思ったので、やってもらえたらいいなと思いましたという感想です。

以上です。

【辻野議長】 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

お願いします。

【岩根委員】 ありがとうございます。

これも感想になってしまうんですけど、私はただの主婦で、子育てをしている者なんですけど、すごく皆さんが、私たちが住んでいる住吉区を考えてくださっていることに、とてもありがたいなということを感じました。

私も、地域福祉専門会議の主な委員意見のところ、今、福祉だけじゃなくて、多分世界的にウェルビーイングというのを言われていると思うんですけど、住吉区では、こういうウェルビーイングや幸福という、こちらのプラスの土壌が出来上がっているという言葉、とてもわくわくして、すばらしいと思ったんですけど、具体的に教えていただけたらと思いました。すみません。

【小西保健福祉課長】 保健福祉課長の小西です。ご意見ありがとうございます。

住吉区では、以前から、本当に地域を中心に様々な取組が行われておりまして、いろいろあるんですけども、例えば高齢者見守りの制度であるとか、あるいは食事サービスであるとか子育てサロン、それから、子ども食堂というの、住吉区内でも19か所でしたかね、で開催されている状況で、非常にいろんな地域を主体にした取組が行われていまして、ということは、それだけ地域を主体に福祉のまちづくりをしていこうという心情がもう既にあるんだと我々は理解しております。それをさらに今後推し進めていきたいなと思っておりまして、先ほど「ゆるやかなつながり」がキーワードと申しあげましたけども、さらに小さなつながりを町中につくり出していくことが、さらに大きなうねりになっていって、さらに地域全体が幸せであるという、幸せなまちに発展していけばいいなと思っておるところです。

【岩根委員】 ありがとうございます。

聞いていて、まさにおっしゃるとおりだなと。私も子ども食堂とかも行ったんですけど、まさにその土壌があるというのが分かりましたし、「ゆるやかなつながり」という言葉を私

も聞いていて、すごく分かりにくいけど、理解しやすいという不思議な感覚だったんですけど。しゃべり過ぎて、ごめんなさい。住民の人にアンケートを取られたときに、町内会に参加しない人が増えてきていて、その中で、人間関係が煩わしいというのがあって、それが私はすごくどうしたらいいんだろうと思いながら見ていたんですけど、「ゆるやかなつながり」とか、みんなが幸せを感じる土壌があるというのを、今後もうちょっと具体的に考えたらということをととても思いましたし、いい場所だなと改めて思いました。ありがとうございます。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

ほか、いかがでしょう。よろしいでしょうか。

そうしましたら、協議事項に入っていきたいと思います。

令和6年度住吉区運営方針（案）についてとなります。委員の皆様より事前にご意見はなかったんですけども、区役所からの説明後にご意見や質問の時間を取りたいと思いますので、区役所から説明をまずよろしくお願いいたします。

【中野政策推進課長】 政策推進課長の中野です。私から、令和6年度住吉区運営方針（案）策定に係る考え方について説明いたします。

運営方針は、区政がめざすべき考え方などを示した、将来ビジョンの実現に向け、各年度ごとに具体に取り組むべき内容を掲げた行動計画でありまして、令和6年度運営方針も次期将来ビジョンの内容に合わせて改訂しております。

資料⑧-1と⑧-2がありますが、⑧-1が大阪市で定められた全市の共通様式です。⑧-2が住吉区の独自様式で、現状や具体的な取組内容等の詳細を示したものでございます。

それでは、これから、戦略ごとの説明を各担当課長からさせていただきます。戦略ごとに、課題認識と具体的取組について、主なものを説明させていただきます。

それでは、⑧-2をご覧ください。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。

資料⑧-2の4ページをご覧ください。

戦略1-1といたしまして、地域のつながり・コミュニティの強化についてでございます。

課題認識といたしまして、生活様式や価値観の多様化により、地域のつながりが希薄化している状態でございます。地域で実施されている様々な活動が、住民に知られていない

状況にもなっておると考えております。

次に、5ページの具体的取組といたしまして、1-1-1、地域活動への参加につながる場や機会づくりでございます。

取組内容といたしまして、こどもとその親世代や、これまで地域の活動と関わりが少なかった区民がより多く参加するよう、防災や歴史文化等の地域資源など関心の高いテーマや内容を盛り込むと同時に、地域活動協議会に関するPRを強化し、区民まつりでの場や機会づくりを行ってまいりたいと考えております。

次に、6ページをご覧ください。

1-1-2、町会加入の促進でございます。

大阪市全市的に町会加入率が減少しておりまして、住吉区でも、今現在、50.2%という町会加入率になっております。その中でも、特にマンションなどの町会加入率が低いことから、町会と連携して、集合住宅への町会加入の働きかけに重点を置いて実施させていただきたいと考えております。

次に、町会の存在や活動を知らない若年層に向け、町会に入るメリットであったり加入方法、そういったものを、関係機関や企業・団体と連携するとともにデジタルツールなどを活用し、情報発信の強化に努めてまいりたいと考えております。

8ページをご覧ください。

戦略の1-2といたしまして、地域ごとの特色ある活動の展開についてでございます。

課題認識といたしまして、地域により特性や課題の違いが顕著になっており、一律の支援では解決できない状態でございます。また、地域活動の担い手の高齢化が進み、新しい担い手が増えていないという状態でございます。

具体的取組といたしまして、1-2-1、地域の実情に応じたきめ細かい支援が必要だと考えております。

内容といたしましては、まちづくりセンターを活用しながら、運営、広報の牽引役を発掘したり、育成したりということで、デジタルツールを活用した勉強会であったり交流会などを実施させていただきたいと考えております。それに伴いまして、地域の実情に応じて、組織運営や財源の確保、情報発信などについて支援を行ってまいりたいと考えております。

次に、10ページをご覧ください。

戦略の1-3といたしまして、多様な団体・企業等との協働についてでございます。

課題認識といたしましては、地域活動協議会をはじめとする地域団体の活動が限られた個人、団体等の参画にとどまっているということでございます。

具体的取組につきまして、1-3-1、多様な団体・企業等との協働でございます。

内容といたしましては、まちづくりセンターの活用により、各地域の課題やニーズを把握し、多様な活動主体との連携・協働につながる交流会等のマッチングの場を設置し、連携・協働が継続的に実施できるよう支援してまいりたいと考えております。

私のほうからは以上です。

【中野政策推進課長】 続きまして、政策推進課、中野です。

11ページをご覧ください。

戦略1-4、公共と民間との協働でございます。

課題認識として、行政と協働する意向のある団体や企業等を把握できておらず、民間の強みを区のまちづくりに活かし切れていないという課題を認識しています。

この具体的取組として、1-4-1、大学・企業等との新たな連携の実施といたしまして、区内に立地する大阪公立大学との連携強化について、区と大阪公立大学とで、区や地域行事等への学生の参加などの具体的な連携内容を取り決めた枠組みの構築、また、区政会議委員と学生との区政全般に関する意見交換の場の設定等に取り組みたいと考えております。企業等との新たな連携の実施については、まずはキャリア教育支援に重点を置き、企業や経済団体等に働きかけを行います。また、大阪・関西万博の機運醸成への協力に向けた働きかけも行います。また、この連携内容や取組事例につきまして、積極的に情報発信を行っていきたいと考えております。

戦略1につきましては、以上でございます。

【辻野議長】 それでは、今ご説明いただきました運営方針戦略1について、質疑に入りたいと思います。こちらは、報告をいただいた住吉区将来ビジョン2028に対応する形で、令和6年度の運営方針をつくってくださっていて、冒頭区長のご挨拶の中にもあったと思うんですけども、年度ごとに調整しながらされるということなので、まずは令和6年度の運営方針（案）についてということになります。いかがでしょうか。

お願いします。

【齋木委員】 10ページに関連する話なんですけど、まちづくりセンター等の活用で、交流会やマッチングの場の設置という話があったんですけども、多分、単に交流会を開催しますということじゃなくて、どういう方に集まってくださいみたいな、ある程度属性を

分けた交流会をすることになると思うんですけども、こういった属性の交流会を考えておられるとかはあるんでしょうか。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。貴重なご意見、ありがとうございます。

まちづくり交流ライブといいますのは、まず、地域のほうで、こういった課題があるのかをワーキングなどでお話し合いいただいて、地域のお困り事、課題を抽出していただきます。その課題に対しまして、企業であったり、施設であったり、そういうところが、うちの企業でしたら、こういう課題に対応することができるというようなことをマッチングして、それぞれ地域に根づいた活動をしていただくのが1つの目標でございます。ですので、地域にそれぞれ課題がありますので、会計に弱いであったり、広報に弱いとか、デジタル活用が進んでいないとか、担い手不足など、そういった課題に対応できるような企業を募集して、交流会を開催させていただいている次第でございます。

【齋木委員】 そういった企業も随時探しているみたいな段階ではあるという感じですかね。

【小林地域課長】 ありがとうございます。

そうですね。できる限り住吉区内で、近隣で迅速に対応できる企業を中心に探させていただいております。課題に対応できる企業を募集している状況でございます。

【齋木委員】 ありがとうございます。

【辻野議長】 お願いします。

【仲本委員】 荻田の仲本と申します。

今の地域関係なんですけど、いわゆるオンライン化とかデジタル化とかいう横文字がどんどん出てくるわけなんですけども、我々年寄りにとっては非常に取っつきにくい。非常にオンライン化とかデジタル化は、実際に時代の流れですから、当然国も推進しておりますし、デジタル化も、特別な省もつくられてやっておりますけども、なかなかみんなついていきにくいところもあります。デジタル化はもちろん時代の流れですから、やらないといかんのですけど、こころを分らない人もついてこられるような方法を考えていかないと、デジタル化は、非常に目標としては世界的な流れですので、やらないといかんのですけども、いかに皆さんがデジタル化についていけるかどうかとも考慮に入れた進め方をお願いしたいと思うんですけどね。デジタルについてよく分からない者の代表としてお話しさせていただきました。ありがとうございます。

【小林地域課長】 貴重な意見、ありがとうございます。地域課長の小林です。

デジタルツールは、確かに高齢者にはなかなか難しいところも多いということで、今現在、我々住吉区内12地域に対しまして、スマホ教室というものを実施していただきたいということでお願いをさせていただいています。地域に講師を派遣いたしまして、スマホを地域の皆様により知っていただいて、その方に講師役になっていただいて、スマホ教室を地域独自で進めていただくという取組をお願いしておるところでございます。先ほども言いました、まちづくりセンターのほうで、交流会だけではなくて、LINEの研修会であったりInstagramの研修会、勉強会みたいなものも開催させていただいております、やはりスマホからいろんな情報が入ってくる時代でございますので、高齢者の方にも、より分かりやすく、なじみやすい取組を今後も実施させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

【仲本委員】 ありがとうございます。

【辻野議長】 お願いします。

【岩根委員】 詳しく説明、ありがとうございます。

質問なんですけど、1ページ目のところで、町内会に加入していない人のアンケートが住吉区区民意識調査にあるんですけど、これは、具体的に人数とか年齢層とかが分からなくて、どこにあるのかなと思って見ていたんですけども、年齢によって随分と違うと思うんです。人間関係が煩わしい方は、もしかしたら若い人に多いのかなとか、それを考えていたので、データ自体を大まかに見過ぎてしまうと、戦略とかも変わるのかなと感じました。

特にマンションなんかでは入っている人が少ないので、町内会に入るようにということだったんですけど、入ろう入ろうと言われても、多分入だけの楽しみとか、もちろんメリットがあるようにとか、書いてありましたけど、そこに、なぜ人間関係が煩わしいのかとか、そういう細かい何かデータがあれば、どうしたらいいかがもっと分かるんじゃないかなと思いました。やっぱり押しつけられるのが嫌な時代になってきているといいますか、それを感じるところがあるので、どうしてほしいのかという意見もアンケートとしてあると、戦略として、もっと本当にみんなが入ってくれるようになるのかなと感じました。

あと、すみません、5ページの具体的取組1-1-1のところ、地域活動の新たな担い手を増やすことにつながった好事例というのがあるんですけど、私は4年前に引っ越してきたんですけど、大阪市内の別の地域から来たんですけど、やっぱりどこの地域も、本当に地域活動をやっている方は高齢者の方が多くて、すごくそれは悩んでいらっしゃるん

です。どうやったら若い人がもっと入ってきてくれるのか、半ば怒ったように言っている方もいらっしゃる。でも、ここに事例があるというのを見て、どういうことがあったのかも分かったら、どういうふうに取り組んでいくかという内容ももっと具体的に分かるのかなと感じたので、聞きたいなと思いました。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。

まず、1点目の区民意識調査については、400人でしたかね。政策推進課の担当になりますので、政策推進課長の中野のほうからご説明をお願いしていいですか。

【中野政策推進課長】 このアンケート調査はウェブ調査で、1つの年代に集中して取っているということではなくて、様々な年代の方から回答いただいています。

今ありました町会加入の項目については、今回ビジョンを新しくつくるに当たって今年取ったアンケートなんですけれども、すみません、大体サンプル数が、今しっかりした総数が分からないんですけども、400人台だったと思います。

【岩根委員】 ありがとうございます。

【小林地域課長】 区民意識調査については、区役所全体で質問項目等を検討しておりますので、今、委員がおっしゃったような項目についても、ぜひ今後対象とさせていただいて、ご意見をいただけるような意識調査にさせていただきたいと我々も考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

次のご質問で、5ページの担い手のところなんですけれども、好事例がどういったものかということなんですけれども、まず1つとして、皆さん、やっぱり地域の方々は、今災害、防災にはすごく興味深いということでございますので、防災訓練等に中学生に参加いただいて、若い時代から地域に根づいた活動をしていくことが、今後大人になったときに、それを地域の皆様に還元いただくことで、成長したときに地域の役員にもなるということが多んじゃないかなと思っております。実際、今子ども会がどんどんなくなっておまして、それぞれ子どもたちがクラブチームであったり、そういうものに行っていて、地域の活動になかなか参加しないということもありますので、地域のおみこしであったり地域の運動会、そういったものに参加することで、子どもたちが参加すれば親御さんたちも参加する、それが担い手につながってくるという事例を各地域でいろいろ検討していただいているところがございますので、そういった情報を共有していきたいと考えております。よろしく願いします。

【岩根委員】 ありがとうございます。

【辻野議長】 お願いします。まず、福留委員、その次、梶野委員。

【福留委員】 福祉施設部会の福留です。よろしくお願いします。

5 ページ目のところで、先ほどもご説明があったように、祭りとか防災という皆さんが興味深いところにお話をしていく形で進めていこうというのが書かれていると思うんですけども、具体的にどこが集約するのかが分かっていたら、そちらにお伝えすることで、何か1つの物事がそこに集約されることで発信しやすいかなと思うんですけども、せんだって行われました、「あそぼうさい まなぼうさい」なんですけれども、同じ日に、大ホールと小ホールで防災に関することが行われていたんですね。流れをつくっていけば、そこともタイアップできたなと思って、それを知っているのは一体どこなんだろうと思ったときに、やっぱり縦割りではなくて、横のつながりで、どこかに情報が集約されるような、そういう仕組みづくりがあれば、もっとまとまった形で皆さんに広報できるのかなと感じましたので、よろしくお願いします。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。大変貴重なご意見、本当にありがとうございます。

我々も認識不足でございまして、地域課は地域のいろんな情報を集めて、日程であったり、スケジュール、計画を、スケジューラーに落として管理をさせていただいて、確認をさせていただいているところでございます。そのほか、広報紙であったり、総務課のほうでも計画表を作っておりますので、そういったものをしっかり区内で認識、把握いたしまして、そういったことがないように今後も取り組んでまいりたいと思いますので、総務課、政策推進課、地域課などを中心に、そういったことをさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【梶野委員】 前回に意見を出させていただいたもののフォローになるんですけども、大阪のいろんな区の中でも、歴史文化資産についてはトップという住吉区、その強みを生かしてということで、ビジョンの中でどのように生かしていかれるんでしょうかというご質問をさせていただいて、これは、ただ単に1つの柱として取り上げるんじゃなくて、全体の柱のベースになるものとして、具体的ないろんなことを考えていきたいというご回答をいただいて、それで納得をしたわけなんですけども、今回の具体的な取組の中では、それがどういうふうにかかされているのかをもうちょっと突っ込んでご質問させていただければと思いました。

【平澤区長】 区長の平澤です。

前回、梶野委員から、歴史文化資産の活用についてご意見をいただいたところです。今回、5ページのところにも具体的取組で書かせていただいておりますけれども、防災、歴史文化と、こういったものを活用した上で、皆さん非常に関心の高いテーマだと思いますので、そこをテーマ、内容に盛り込むことで、たくさんの方に参加していただくことで、資源の活用が1つできるのかなと考えておるところでございます。

以降の2から4のそのほかのいろいろな戦略におきましても、いろんな方に集まってもらうに際しまして、いろいろと関心の高いテーマを扱っていこうという切り口にもなってこようかと思えます。5ページの下にも書いておりますとおり、こちらに区民まつりでの場・機会づくりで年1回と書かせていただいておりますけれども、その他、区主催・共催行事におきましても、そういったテーマを盛り込むことで、いろんな場面で活用させていただきたいという趣旨で、こちらに盛り込んでおるところでございます。

以上です。

【梶野委員】 私の想像としては、すみよしの魅力PR補助金事業というのをずっとやっておられて、あれがまさに歴史文化の活用に、どんぴしゃりとなるかと思うんですけども、その言及はなかったもので、ひょっとして今年中止になるんじゃないかなという懸念も持ちましたものですから、それも確認したくて、ご質問いたしました。

【平澤区長】 区長の平澤です。

この運営方針につきましては、全ての事業を網羅しているということではなくて、主な事業でPDCAを回して行って、将来ビジョンで掲げております、めざす姿の実現をしていこうということで、幾つか事業をピックアップして載せている状況でございます。

おっしゃってられました事業につきましては、今後ももちろん継続していくことで考えておりまして、こちらの事業につきましては、ある意味軌道に乗ってやっていっているということですので、あえて目標を掲げてPDCAを回していく種類のものではないということで、今回運営方針には載せておりませんが、引き続き取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

【梶野委員】 分かりました。

【辻野議長】 よろしいでしょうか。

お願いします。

【山本委員】 山本です。度々すみません。

お礼みたいな話になっちゃうんですけど、戦略のところ、1-3ですよね。多様な団体・企業等との協働というところで、町内会みたいな話も結構出ていたり、社協さんの話も出ていたりするのかなとは思んですけど、ここで言うところの多様な団体・企業でいくと、まちづくりに関わる関わり方は、地域コミュニティはいろんな形があるのかなと思っていて、それでいくと、自分のところでいうとあれなんですけど、私が、9月30日に公園を貸していただいて、地域のお店をお呼びして、ちょっとしたマーケットをやらせていただいたんです。そしたら、結構若い人も来てくれて、その店に関わる人も結構来てくださって、そこで知り合った人同士がつながって、また今度何か新しいことを始めましょうかとか、そういった話にもなってきたりしているので、形にこだわるといふか、結果として住吉をよくしたい、住吉、このまちが好きだなみたいな人が結局増えれば、それでいいんじゃないかなと僕は思ったりしているので、そういうことをこれからもどんどんしていきたいなと思いますし、それが指標に一定近い形であるというのは、すごいこれからも勇気をもらえるかなと感じております。頑張りますので、また引き続き一緒に走っていたらと思います。よろしく願いいたします。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

戦略がまだ3つ残っていますので、一旦ここで先に進ませていただきたいと思います、よろしいでしょうか。重要な論点が幾つも出されましたので、恐らく後の戦略にも関わることもあったので、区役所の方だけにというわけじゃなくて、今後の区政会議にも留意すべきご意見。

最初、仲本委員から、高齢者の方にも分かる取組とか、用語そのものとかですかね。やっぱり非常に支援が必要な方々であるにもかかわらず、置いてきぼりにされてしまうということが起こると思うので、これは我々も含めて、重々注意していきたいなと思いました。ビジョンをつくる際にも、やっぱり一つ一つの言葉が全く分からないとなると、せっかくつくったビジョンがもったいないことになりますので。

あと、岩根委員からありましたアンケートの分析の仕方。年齢の話とかがあったんですけど、400ぐらいの母数だという話だったんですけども、単にしがらみがといいますか、そういうのも、どの年代が言っているのかで違うんじゃないかという、年齢ごとのクロス分析みたいなのですかね。ちょっと分かりませんが、分析の仕方のおっしゃっているのかなと思ったんですね。そういうデータがあるのかなのか分からないですけど、今後またやり取りをさせていただく中で、せっかく収集した情報なので、可能な範囲で、そ

ういう情報を有効に分析して、きちっと対策が的確にできるといいなと思いました。

【中野政策推進課長】 第2回目のビジョン検討会議の際に皆さんにお示した区民意識調査の報告書がございまして、多分、今回から新しく委員さんになられていますので、またこちらのほうもお渡しさせていただきたいと思います。

【平澤区長】 今、情報だけ。何が原因で町会に加入しないかというデータが、たしか年代別であったと思うので、今ご説明をお願いできますか。

【中野政策推進課長】 ありますね。このときの問いで、加入していない理由はどのようなものですかというのがございまして、これも、年齢別に、人間関係が煩わしい、どのような活動をしているか分からないという答えは30代以下の方が多くて、大体4割ぐらいの方がそういうふうに答えておられます。60代以上の方で一番多かったのは、仕事の都合で自治会活動をする時間的余裕がないというのが27.7%で多かったという結果がございすね。

【辻野議長】 ありがとうございます。

回答を求めたものではなかったんですけど、すみません、お手間をおかけしました。

【中野政策推進課長】 資料のほうをまたお渡ししたいと思いますので。

【岩根委員】 ありがとうございます。

【辻野議長】 町会、地域活動への参加ということは、何回もこの会議でも話題になってきているところなので、ぜひ少しでも突破口が見られたらいいなと思っています。

あと、すみません。福留委員からも、縦割りでというお話もあったので、これも何回も出ていることなので、窓口をどこに相談すれば全体が見渡せるのかと、これは多分区役所の方々も非常に悩ましい問題だと思うんですけども、福留委員がさっきおっしゃったように、防災の行事をするときにも、大ホールと小ホールでしょうか。知っていたら連携して工夫ができたという非常に前向きな提案をさせていただいていると思うんですよ。なので、こういうことの積み重ねで地域活動は活性化していくことだと思いますので、何回か、「またか」となると、だんだんしぼんでいってしまうというのが、そういうわだちがあるかなと思いますので、区役所の方々、非常に難しい問題だと思うんですが、ぜひまた今後の区政会議等でも改善の方策を見いだしたいなと思います。

それでは、戦略2の説明をお願いいたします。すみませんが、時間が大分押していますので、かなり要点を簡略に。資料は手元に置いてありますので、なるべくダイジェストでお願いいたします。

【小西保健福祉課長】 それでは、保健福祉課長の小西です。

資料19ページをご覧ください。

戦略2-1、地域福祉の推進です。

課題認識としては、生きづらさを抱えた人々が孤立し、支援の網の目から漏れてしまうことや、住み慣れた地域で、誰かの役に立ちたいという思いを活動につなげる仕組みが必要ということでございます。

具体的取組としましては、2-1-1として、支援が必要な人々へのつながりづくりということで、複合的課題などへの対応に向けた地域と専門職などのネットワークづくりを進めるとともに、総合的相談支援体制の充実や、区全体の課題、福祉課題の解決に向けた取組などを行ってまいります。

20ページをご覧ください。

具体的取組の2-1-2です。みんなが支え合う豊かなコミュニティづくりです。

具体には、地域見守り支援システムの構築に向けた取組を推進するとともに、各地域で地域座談会の開催による小地域福祉計画策定に向けた支援などを行います。

以上です。

【福田保健子育て担当課長】 保健子育て担当課長の福田でございます。それでは、戦略2-2の健康づくりの推進の説明をさせていただきます。

21ページをご覧ください。

課題認識といたしましては、特定健診やがん検診の受診率が低い水準にとどまっておりまして、全ての区民が、健康づくりに関心を持つ風土づくりが必要と考えております。

具体的取組といたしましては、2-2-1の受診勧奨の強化といたしまして、検診や講習会の場等や広報等によりまして、検診の受診勧奨を実施してまいりたいと思っております。受診勧奨の場及び広報媒体、回数等につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、22ページをご覧ください。

2つ目の取組といたしましては、地域健康講座の促進といたしております。

具体的には、地域健康講座の普及啓発と充実を図るとともに、いきいき百歳体操の普及啓発、その活動を支援させていただきまして、参加者数確保やサポーター養成・体験講座の開催等を行ってまいりたいと考えております。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。

戦略2-3、23ページ、防災の取組をご覧ください。

課題認識といたしましては、災害への備えや適切な避難行動を取ることができるよう、浸水想定認知度をはじめとする防災意識のさらなる向上が必要と考えております。災害時の要援護者支援のための個別支援プランの作成を進めるとともに、事業継続を適切に行うことができる体制を整えておくことが必要と考えております。

具体的取組といたしまして、2-3-1、災害時要援護者支援でございます。

令和8年度末までに全12地域で個別支援プランを作成するため、町会役員に加え、民生委員の方々にも参加協力を求めて、未作成の3地域への働きかけを実施してまいります。

24ページをご覧ください。

2-3-2、地域防災力の向上でございます。

毎年11月の第2土曜日に実施しております総合防災訓練を実施させていただきます。区民の意識・関心を高めるために、地域の方や防災専門会議委員の皆様の意見等を反映して重点項目等を設定してまいりたいと考えております。そのほかに、地域防災リーダーの育成であったり、大和川氾濫等の水害に備えた防災力強化アクションプラン第2期に基づく取組として、水害等に関するリーフレットの全戸配布を行ってまいります。

次のページをご覧ください。

2-4、防犯・交通安全の取組といたしまして、課題認識として、街頭犯罪は増加傾向にあり、特殊詐欺が依然として多発している状況です。交通マナーに起因する自転車・高齢者関連事故が多発しております。

次のページ、26ページをご覧ください。

2-4-1、地域安全対策（防犯）といたしまして、商店街等の街頭や地域イベント等において、子どもや高齢者に直接働きかける啓発を実施してまいります。また、子ども見守り隊の活動を支援するとともに、犯罪が多数発生している地域に対しまして、常設の防犯カメラ（194台）と、導入いたしました移動式防犯カメラ（3台）を活用し、犯罪抑止の取組を実施してまいります。

次のページ、27ページをご覧ください。

2-4-2、地域安全対策（交通安全）についてでございます。

こちら、子どもや高齢者に直接働きかける、企業と連携した自転車安全講習などの啓発活動を実施してまいります。また、子ども見守り隊の活動も、こちらでも支援をさせていただきます。

次に、2-4-3、放置自転車対策事業でございます。

こちらは、放置自転車が多い場所、Osaka Metroあびこ駅・長居駅で重点的に啓発活動を実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

【中野政策推進課長】　　続きまして、28ページ、空家対策の推進でございます。

課題認識としまして、区内には空家等が数多く存在していることから、早い段階で空家の活用が図られるよう、地域や専門家団体等と連携し、空家等の適正管理や利活用の促進を図り、特定空家等の発生を未然に防止することが必要である。

具体的取組、2-5-1、空家発生の未然防止・利活用の促進として、住吉区空家等対策推進ネットワークを構成する不動産団体や地域団体等と連携し、空家や将来空家となる物件等についての情報共有、所有者への利活用の効果的な啓発や、市場流通に向けた方策の検討を実施します。また、空家セミナーや広報紙への啓発記事の掲載など、空家の発生抑制のため、空家の適正管理や利活用促進、空家発生の未然防止に向けた啓発等を行います。

次のページ、29ページです。

2-5-2、特定空家等の是正として、放置すると危険を及ぼすおそれのある空家について、通報の受付、所有者を特定した上で、助言・指導を行っています。

戦略2については、以上でございます。

【辻野議長】　　それでは、ここから質疑に入りたいと思いますが、時間が限られていますので、まず、質問を一括して受け付ける形にさせていただいて、まとめて区役所のほうから後で回答いただくことにさせていただきたいと思います。質問、ご意見、ご感想、何でも結構です。いかがでしょうか。

お願いします。

【山本委員】　　すみません、毎センテンス聞いていて、申し訳ないです。

細かいことになるので、この場でお答えいただけなかったら、全然それはそれで大丈夫なんですけれども、2-5の空家対策の推進のところで、いわゆる空家法、こちらが多分改正されますよね。改正空家法が、多分12月13日ですかね、に施行になると思うんですけども、これの住吉区への何か具体的な影響であるとか、今の時点で決まっていなかったとすれば、今後それをどのように捉えて。空家の利活用に関しての改正になるので、どちらかというと緩和していく方向だと思うんです。その部分で、どういった影響があるとか、どういった展望があるみたいなので、もしご意見とか、考えていることがあれば、参考で

教えていただきたいなと思いました。

【辻野議長】 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

お願いします。

【鍛冶本委員】 こんばんは、鍛冶本です。

2-1-2のところがありました地域見守り支援システム構築についてなんですが、既に今、最初の段階よりも名簿のほうではすごく減少している中で、それを防災だっぴりにつなげていくことについて、なかなか防災のほうでも働きかけたりしていく中でも、減少している中で、その反面、やっぱり年配の方が増えてきているのも事実で、その辺の広げていく力をまた強化していく意味で、どのように広げていくのか、今後もう少し検討が必要なのかなど、そのように現場では感じています。

【辻野議長】 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

そしたら、回答をお願いいたします。今回答でできなかったら、それで結構とおっしゃっているんで、回答可能な範囲でお願いします。

【中野政策推進課長】 可能な範囲ということで、空家法の改正に伴って、さらに空家発生の未然防止とか利活用の促進が進みやすく、そういったふうに空家法が改正されていきますので、それにのっとなって私たちもそういった啓発を進めていきたいと考えております。よろしいでしょうか。

【山本委員】 はい。

【小西保健福祉課長】 保健福祉課長の小西です。お世話になっております。

見守り支援システムの担い手の方が減少傾向にあるということではよろしかったですか。ごめんなさい、質問。

【鍛冶本委員】 すみません、担い手のほうではなくて、支援者の方が名簿から外れていっているというか、減少の方が増えているんですよね。そうなんだけれども、やっぱり地域でご年配の方とかが増えてきているのが現状としてはある中で、見守り支援プランだけの人はどうしても固定されてしまうというか、その人らだけでいいのかということになったら、そうではないので、その辺のくくりが、そこにばかり強化されてしまうと、皆さんの目がそこしか行かなくなったりとかというのがあるので、今後防災とかにつなげるのであれば、もう少し取組を拡大していくことを考えていかないといけないのかなという

ことで、防災訓練ごとに自分たちはやっぱり現場では感じているところです。

【小西保健福祉課長】 すみません、私が質問の認識を間違えておりました。

その点についてでしたら、先ほど、地域福祉ビジョンの改訂という中で、「ゆるやかなつながり」を今後地域の中で広げていくという方向性を考えておりました、そういった中で、地域の中で気になる方を地域の方が自発的に見つけてくださって、その方々を緩やかに見守っていく、そういう何か仕組みづくりを今後つくっていければなと思っておりました、そういう取組を今後進めていきたいと考えております。

【辻野議長】 ありがとうございます。

それでは、続く戦略の説明に入りたいんですが、申し訳ないんですけども、区役所の皆さん、戦略3と4を併せてご説明いただいて、なるべく質疑の時間を取りたいので、長くなりますが、3と4をまとめて、また先ほどと同じように、ダイジェストでご説明をお願いしますでしょうか。3と4を続けてお願いいたします。その後にまとめて質疑の時間を取りたいと思います。よろしくをお願いします。

【福田保健子育て担当課長】 保健子育て担当課長の福田でございます。それでは、私のほうからは、戦略3-1、子育ての支援の説明をさせていただきます。

31ページをご覧ください。

課題認識といたしましては、子育てを周りに相談できない保護者等が増えておりますけれども、子育てに関する相談や情報提供窓口の認知度が低いということと、相談件数や児童虐待の通告件数は依然として多い状況でございまして、児童虐待の予防や早期発見、適切な支援につなげる体制の強化が必要なことと考えております。

32ページをご覧ください。

具体的取組といたしましては、子育て情報の発信といたしまして、記載のように、LINEによる子育てに関するお役立ち情報の発信など、プッシュ型の情報発信など、子育て情報の発信に取り組んでまいりたいと考えております。また、乳幼児健診と就学前健診のはざまでございます全4歳児に対するポピュレーションアプローチの実施をはじめとしまして、児童虐待防止対策に取り組んでまいりたいと考えております。

加えて、33ページのほうに入りますけれども、(仮)住吉区こども家庭センターはぐあっぷに、子育て支援の専門職を配置させていただきまして、相談支援体制を強化するとともに、医療機関等の関係機関と連携を強化させていただきたいと思っております。また、現在実施しております、ぱぱこうざに加えまして、新たに、ぱぱこうざ同窓会というものを開催するな

ど、はぐあっぷ事業の推進に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

【小西保健福祉課長】 続きまして、保健福祉課長、小西です。

34ページをご覧ください。

3-2、こどもと若者の支援です。

課題認識としては、生きづらさを感じる人や、ヤングケアラーをはじめ家庭状況など様々な要因により、不登校やひきこもり状態に陥っている子どもや若者が増加していること、子どもが安心して過ごすことができる場の充実が必要と考えております。

具体的取組としましては、35ページをご覧ください。

3-2-1、児童・生徒等の支援ということで、たくさんございますけれども、その中で、一番上にあります、こどもサポートネット事業の充実や、支援者向け研修などを通じてヤングケアラー支援を推進するということと、それから、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの拡充による相談体制の充実、また、子ども・若者育成支援事業、自主学習習慣づくり支援、学習支援の充実などを図ってまいりたいと考えております。

【山田教育文化課長】 教育文化課長の山田でございます。3-3、学校・学びの支援についてご説明をさせていただきます。

課題認識は、子どもが未来を切り拓く力を身につけられるよう、教育環境の充実や改善につながる学校園等の支援の充実が必要としております。

具体的取組でございますが、3-3-1、地域の実情に応じた学校教育支援でございます。区内市立学校への教育活動に関し、総合教育会議や教育行政連絡会等で聴取・把握した学校園や保護者・地域住民の意見・ニーズを踏まえた支援の実施、学校協議会の状況把握をして、教育活動支援の参考とすることといたしております。これらは、学校園長が有効と感じるように、支援に取り組んでまいりたいと考えております。また、学校教育活動支援の好事例などにつきましての情報発信にも取り組んでまいります。

続きまして、裏面の38ページをご覧ください。

3-3-2でございます。教育コミュニティづくりの推進といたしまして、教育コミュニティづくりを推進する生涯学習推進員・はぐくみネットコーディネーターの活動支援を行うことで、ライフステージに応じた区民の学びを推進してまいります。

以上でございます。

【中野政策推進課長】 引き続き、戦略4に進みます。

40ページをご覧ください。

4-1、区政への住民参画の推進について。

課題認識は、多様な区民ニーズの把握、掘り起こしと、区政に関する情報発信の充実が必要と考えております。

具体的取組は、4-1-1、区民ニーズの把握・意見の区政反映として、区民意識調査やSNSアンケート機能の活用など、様々な機会を通じて区民ニーズの把握を実施します。区政会議での議論や区民ニーズ・意見の区政への反映状況を、広報紙やホームページ等で発信します。区政会議や各種専門会議等のライブ配信など、デジタルツールを活用し、会議の見える化を推進します。

41ページの4-1-2、広報紙、ホームページ、SNSの充実といたしまして、まず、広報紙については、区政や地域の取組に関心を持ってもらえる紙面づくり、ホームページは、必要情報を迅速かつ簡潔に入手してもらえるよう工夫いたします。SNSについては、魅力ある内容の発信はもちろんのこと、情報の受け手であるフォロワーを増やす取組も行っていきたいと考えております。

【田中総務課長】 総務課長の田中でございます。私のほうからは、42ページ、戦略4-2、窓口サービス向上・DX推進ということで説明をさせていただきます。

まず、課題認識といたしまして、来庁者に対する窓口サービスの評価が低い、また、オンラインでできる手続や事前予約の認知度が低く、利用の促進が必要と考えております。

具体的取組でございますが、4-2-1、職員の接遇力の向上といたしまして、民間事業者による接遇研修を年1回実施するとともに、職員自身の接遇状況について、年に2回自己点検を行ってまいります。

続きまして、43ページ、具体的取組4-2-2の市民満足度向上に向けたDX推進といたしまして、新たにオンライン化できる手続を検討し、導入してまいるとともに、オンラインで可能な手続等の認知度向上といったところにも取り組んでまいりたいと考えております。

戦略4につきましては、以上でございます。よろしく申し上げます。

【辻野議長】 それでは、戦略3と4につきまして、まとめて、また質疑を行いたいと思います。ご質問、ご意見、感想等、いかがでしょうか。

お願いします。

【岩根委員】 ご説明ありがとうございます。度々すみません。

ちょうど私も1年生と4年生の子どもがいて、ほかの子どもたちとも関わることが多いので、特に子育てのところで思うことがありまして、すごくいろんな活動で、先日もLINEで子どもたちが相談できるようにという紙を学校から子どもが持って帰ってきていたんです。保護者に対してのそういう区で取り組まれたり、いろんなところで取り組まれているものが、よくよく入ってくるんです。ただ、やっぱり保護者として、お母さんたちと話していたりしても、これは苦情じゃなくてなんですけど、なかなかそこに子どもがふだん話していない人に、しかも、病んでいたり悩んでいる子がいろんなことを言えるかというのは、やっぱり自分事としたときに、大人も同じだと思いますし、子育て支援で、お母さんたちも同じだと思うんです。

31ページに、子育てを周りに相談できない保護者が増えているというの、これは、私は今お母さんたちに関わる団体に所属していて、いろんなお話を聞くんですけど、やっぱり日々信頼できる環境があって初めてお話ができるし、問題も外に出てくるということがあると思います。「ゆるやかなつながり」とおっしゃっていたように、それは、子育てとか教育、未来を担う子どもたちだけでなく、全てのことにあると思うんですけど、やっぱりそういう場所がすごく必要で、急に何かに相談をしてくださいと言われても、なかなか難しいと思うんです。先ほど山本さんがおっしゃっていたように、いろんな地域の人がマルシェとかでつながって、そこでつながって情報共有とかをしたり、そういう方々がすごく今情報もたくさん持っていらっしゃるし、お母さんたちが安心できる場もすごくつくっていらっしゃるのが住吉区だなどと思っていまして、なので、そういうところをもっと使えばいいんじゃないかなと思いました。

32ページの子育てに関する手続、サービスとか、いろんなお役立ち情報などをLINEで情報提供していくというのも、そんないいものがあるのに、LINEに登録してもらわないとやっぱり何も情報が伝わらなくて、そういう登録できるものをもっと、地域の企業さんもいいと思うんですけど、そういう個人ですごく活動している方にもうちょっと力を借りたら、本当に悩んでいる人につながるんじゃないかなと思いました。区役所のほうで、子育てについていろいろと活動している人が集まる機会が去年もあって、声をかけてもらったんですが、行けなかったんですけど、もっともっとそういう人のつながりを、区の人がつながって、区役所でつながっていくことが、本当の悩みというか、手助けになるというのを見ていて思いました。

あと、もう1個だけ、すみません。子どもたちと関わっていて、ヤングケアラーも、実際ヤングケアラーと自分が思っていないくてなっている子がたくさんいると思います。やっぱり日々の話の中でそれに大人が気づいてあげることが大事なので、例えば今、保健室がどう機能しているか分からないんですけど、そういう子どもが安らいで、安心して話せる場をどうつくるか。事務的なことじゃなく、本当の生活の場の中で、学校やカフェとかでもいいと思うんです。日々の生活の中にどうつくっていきけるかがめっちゃめっちゃ大事だなと、親としても、お母さんと関わっている者としても感じたのが、子育てのこと、将来の世代への支援のことで感じたことです。すみません、もう決まっていることですけど、こういうのを取り入れていただけたら、とてもありがたいなと思いました。

【辻野議長】 ありがとうございます。

ほかにご質問等、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。岩根委員、今のは、ご感想とご意見、情報提供ということでしょうか。今のご質問に回答いただく必要はありますでしょうか。よろしいですか。

【岩根委員】 大丈夫です。

【辻野議長】 大丈夫ですか。どうもありがとうございます。貴重なご意見をいただきまして、大変ありがとうございました。

それでは、時間が既に来てしましまして、うまく時間の進行ができなくて申し訳ありませんでした。ご協力のほど、大変ありがとうございました。この時間の中でご意見等を出し切れなかった方は、メールやファクス等でも、区役所で随時意見を受け付けていただいているということなので、またよろしくお願いいいたします。また、私にも個人的にご意見を寄せていただけたら、必ず今後の区政会議に生かしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいいたします。

それでは、本日の議案が全て終了したということになります。全体に関して、何かこの場でご発言される委員の方がもしいらっしゃったら、お願いできますでしょうか。

お願いします。

【繁田委員】 先ほど仲本委員さんがおっしゃった、いずれのすばらしい計画を進めるに当たって、高齢の者がすごい残していかれる、置いていかれているところがあると思うんですね。だから、先ほどお聞きしたら、例えばスマホ教室を各12町会、順番にやってももらえる、そういうことをもっと強化していただけたらなと思うんですね。我々も各

町会でやっているんですけども、なかなかそれがうまくいかないのが実情なので、置いていかれている年寄りも助けていただきたいと、かように思っています。全てに今すばらしい計画が並んでおるんですけど、そこについていけない人もおるということを訴えたいと思っております。

すみません、以上です。

【辻野議長】 ありがとうございます。

この機会に、ほかに何かございましたら、ぜひお願いいたします。よろしいでしょうか。お願いします。

【浜田委員】 いろいろな課題認識だとか戦略だとか、何も今年、来年度初めて行うことではないんだと思うんです。ずっと同じようなことをきちっとされてきていると思うんです。ちょっと言葉を換えたぐらいで、パソコンだったらすぐ変えられるから、同じことの繰り返しだろうなと思うようなことがたくさんあってね。だから、前回も言いましたけど、せっかく区政会議だったら、やっぱりこの中で、もうちょっと具体例を、こういうことをするというのを少しでも書いていただいたら、皆さんも分かりやすかったのと違うかなと思います。

具体的なこととか、それから、今のデジタルのそういうので、もうちょっと年寄りに優しくとか、これも私になってから、ずっと言い続けていることなんですけど、結局蓋を開けて、またこうなったら、同じ繰り返し。さっきも先生がおっしゃったと思うんですけど、ずっと同じことの意味を繰り返し言っているような気がします。だから、せっかくの会議をしているんだから、次のときは、もう少し変化があるようなことを、進歩していることをしていただきたいなと思います。すみません。

【辻野議長】 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

すみません、最後、駆け足になりまして、申し訳ありませんでした。貴重なご意見、ありがとうございます。

それでは、1点だけ、すみません。いつも悩ましいところなんですけども、働き方改革とかスクールソーシャルワーカーの話とか、いろいろ入れているんですけども、区の権限でできることと、市の権限でやることが分かれていて、我々からすると、よく分からないので、どうしても区役所の皆さんに言うことが多いんですけども、例えば先生方、教職員の雇用というのは多分区ではできないので、これは大阪市会の議員さんが来てくださっ

ているので、ぜひお願いしたいなと思いますし、これは国も関わることだと思いますけど、あとは、区役所の皆さんも非常にご多忙なところですので、なるべく公行政に関わる人たちが、やりがいがあるような職場にしていくことも、恐らく市政にも関わることなのかなと思いますので、毎回忙しい中来てくださっている議員の皆様に、ぜひ区政会議委員の意見も聞いていただいて、市会のほうにも生かしていただけたらうれしいなと思っています。

それでは、ここで、司会の方にお返ししたいと思います。

【北野（司会）】 辻野議長、ありがとうございました。

それでは、次第にあります5番目のその他の事項につきまして、私のほうからご説明申しあげます。

その他の事項の1点目、次回の第4回の住吉区政会議の開催日程についてですが、令和6年3月7日木曜日の午後6時30分より開催を予定しております。その他の事項の2点目、各会議の開催日程ですが、令和5年度第1回住吉区総合教育会議は令和5年12月18日月曜日、第2回住吉区防災専門会議は令和6年2月21日水曜日、第2回地域福祉専門会議は令和6年2月22日木曜日にそれぞれ開催を予定しております。申し訳ございません。総合教育会議は、第2回になりますね。申し訳ございません。

以上でございます。

それでは、ここで、本日ご出席いただいております議員の皆様より一言お願いしたいと思います。

中田議員、よろしく申し上げます。

【中田議員】 どうも皆さん、お疲れさまでございます。

いろいろなご意見を、区政、また、市政にしっかりと生かさせていけるよう、しっかり頑張ってまいります。私、何かご参考になればということで、東京の荒川区に視察に行かせていただいたときに、荒川区にある公立の中学校ですけれども、レスキュー部というのをつくって、ある学校が、レスキューというか、防災的な取組を開始したということです。それをきっかけとして、荒川区の教育委員会が全校に防災部というのをつくったらしいです。率先して中学校の生徒さんが地域の防災に関与していく。いろんな講習会に積極的に参加したり、いわゆる防災的なチラシを地域に配布したり、大きなセミナーに参加したり、当然そういった中で、地域の方々とコミュニケーションを取って進めていく。防災の観点からですけれども、そういった取組をしているというのを視察で勉強させていただきました。

これがどうなるかというのはこれからの取組の結果になっていくと思うんですけど、議題で、お話にもありましたが、いわゆる町会の加入率があまり進んでいない、そういった取組の一環から、防災の観点からの切り口ですけども、行く行く、中長期的には、そういった方々が大人になって、地域のコミュニケーションを取っていく中心者となっていく、また、そういった方々が町会の中心者になっていく、そういった取組につながるのではないかと、荒川に行きまして、勉強させていただきました。

また、ある地域では、防災運動会、こういうのを企画してやっておられたというのも勉強いたしました。これも防災の観点で申し訳ない。私は防災士をやっているんですけど、そういった観点のお話で、そういった防災の観点だと結構皆さんが糾合しやすいというようなお話もありましたので、そういった観点からやっていけば、何か違った変化が生まれるのではないかと私は思っております。

特効薬があって、すぐこれをすると結果が出るというのは、なかなか行政の場合、難しいかと思いますが、そういった観点から取組、地道にやっていくことが大事なのではないかということで、ご紹介といいますか、そういったお話をさせていただきました。

本当に今日はお疲れさまでございました。勉強になりました。ありがとうございました。

【北野（司会）】 伊藤議員、よろしくお願いします。

【伊藤議員】 お疲れさまでございます。

私も5年弱、区政会議にほぼ毎回参加させていただいているんですけども、先ほど浜田委員もおっしゃっていたように、同じことを結構繰り返して、もっとより具体的な提案が見れたほうがより分かりやすいというご意見があったと思うんですけども、本当に毎回毎回町会の加入率についてすごい議論をされているなど、ずっと感じています。将来ビジョン2028をご多忙の中つくっていただき、本当にありがたいんですけども、ちょっと感じたんですけども、例えば19ページの加入したことがないと回答した人に加入していない理由と書いているんですけど、人間関係が煩わしいですとか、仕事が原因で参加できないという方を引き込もうと思っても、なかなか難しいと思うんです。であれば、どのような活動をしているか分からないとか、町会の加入方法が分からない、こういう人たちをまずは取り込んでいく必要があると思います。

具体的におっしゃっていたので、例えば加入の方法が分からない方とかは、転入の手続を区役所にしに来た際に、加入の意思があるような人には、具体的に、あなたは何々町会なので、ここに連絡していただいたら加入できますよと、連絡先まで教えてしまうとか、

細かいかもしれないんですけど、そういう本当に具体的な取組をして、ちょっとパーセンテージが上がったとか、そういう話があると、やっている感じじゃなくて、本当に成果がより目に見えて、分かりやすくいいのかなと思います。

あと、大阪市に24区ある中で、いろんな区の特徴があると思うんですけど、住吉は同じ地域の中でも、町会ごとに加入率は多分アップダウンがあると思うんです。例えば同じ地域の中でも、多いところと少ないところの原因が何なのかをもう少し分析というか、例えばマンションが多いのか、地域のイベントが多いのかとか、ご高齢の方が多いところなのかとか、そういう見える化をすることによって、同じ地域でも、隣の町会で全然加入率が違うとかというのであれば、すごいこういった問題の解決に結びつくようなきっかけになるんじゃないかなと感じました。

本当に今日は皆様、遅くまでお疲れさまでございます。ありがとうございます。

【北野（司会）】 くぼた議員、よろしくお願いします。

【くぼた議員】 遅くまでお疲れさまでございました。くぼた亮と申します。

私自身は、地域は墨江のほうで生まれ育って、子ども会で育ててもらったような記憶がある中で、何か恩返しできることはないかなということで日々活動させていただいていますが、実家が不動産をやっていることもあるので、空家のことであつたりとかは大変興味を持って勉強させていただいております。

またたくさん議論ある中で、より具体性を持ってということで、なかなか難しい方向性だとは思いますが、一緒になって学び続けていきたいと思っておりますので、また今後ともよろしくお願いします。お疲れさまでございました。

【北野（司会）】 それでは、最後に、区長より一言お願いします。

【平澤区長】 住吉区長の平澤です。

本日は長い時間にわたりまして、たくさんご意見をいただきまして、本当にありがとうございます。本当に様々ご意見いただきまして、全て有用なご意見ということで、今後、区政に生かしてまいりたいと考えております。

おっしゃっていただいた中でも、デジタル化について、今回の課題の戦略の中にも掲げておりますけども、デジタル化を進めるというのは、決して高齢者の方、使えない方を置いていくことではなくて、デジタル化で合理化して、そこで生み出したいいわゆる人手、それを本当に真に相談を必要とする人にきっちり手当していきこうということで進めていく観点でDXに取り組んでおりますので、その観点が少し見えにくかったのかもしれませんが

ので、そこはしっかりと訴えていって、単に機械化をしていって、その機械を使えない人は、自分たちはどうしたらいいんだろうという不安になるといったことがないように、我々も気をつけて取り組んでまいりたいと考えております。スマホ教室も各地、今広げておりまして、スマホ教室の講師のようなことに、スマホを使える若い方になっていただいて、そこで地域活動に参加していただいてもいい循環ができたらいいなかなと思っておりますので、そこも戦略1のところがありました、まちづくりセンターなども活用しながら、取組を進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

情報の集約につきましても、より効果的な発信という意味で、非常に重要な観点かと思っておりますので、横の連携をきっちり取りまして、情報発信の充実に努めてまいりたいと考えております。

また、見守りの件ですとか、あるいは、ヤングケアラーとか、子どもさんとか、いわゆる相談窓口になかなかなじみのない人とか、なじみのない窓口で相談できないよというのは、確かにおっしゃるとおりかなと考えておりまして、そういったことから、地域の「ゆるやかなつながり」であるとか、また、戦略1でのつながりをつくっていこうということで、民間企業とか大学とか、そういった行政だけではないところとつながることによって、いろいろな情報も発信できますし、いろんな支援につなげていくことができるかなと考えておるところですので、今回の戦略1のほうで、企業との連携ということでかなり項目を割いていますけども、そういった単なる地域活性化だけではなくて、福祉であるとか子育て支援とか、そういったことにもつながるように取組を広げてまいりたいと考えておりますので、またご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

また、なかなか取組が具体的ではないと、同じような取組が毎年多いなというご指摘、大変お耳の痛いところでございますけれども、やはり地道に一つ一つ取り組んでいくことも必要でして、特に支援、福祉などといった部分については、なかなか一気に成果が目に見えて出てくるものでもございませんので、地道に同じ取組を進めながら、また、PDCAができるだけ図れるようには見える化をしまして、区政会議でご意見をいただいて、ブラッシュアップしてまいりたいと考えております。

また、町会の加入につきましても、大阪市全体で町会加入を促進していこうという取組を進めております。中田先生からご提示いただきました防災を切り口にしたということは、非常に我々も効果的かなと考えておりますので、そういった取組、特に小学生、中学生といった子どもたちの世代から、町会の重要性といいますか、メリットとか、そういっ

たものを訴えていくことが、今後の町会活動への加入につながっていくかなということで、なかなかすぐに成果が表れるものではないんですけども、少し長期的な観点からも進めてまいりたいと考えておりますし、また、集合住宅、こういったものも今後たくさん建設されていくと思いますので、そこでマンションに丸ごと入っていただけるような、そういった形も併せて進めてまいりたいと考えております。

いろいろな幅広い分野の取組でありますので、なかなか一気に進まないものもあるかと思っておりますけども、また区政会議でご報告してまいりますので、その都度ご意見をいただければ大変ありがたく存じます。本日、どうもありがとうございました。

【北野（司会）】　これで本日の会議は全て終了いたしました。委員の皆様には円滑な会議の進行にご協力をいただき、ありがとうございます。

これで第3回区政会議を終了いたします。本日は長時間にわたり、皆様、ありがとうございました。

—— 了 ——